

【学校教育目標】

ふるさとを愛し、未来の創り手となる児童生徒の育成（有中校区共通）

～夢に向かって挑戦し、レベルアップを図る児童の育成～

【目指す資質・能力】 論理的思考力・探究力・創造力・コミュニケーション力・共感力

【キーワード】 ガイダンス（夏休み前まで）→挑戦（冬休み前まで）→レベルアップ（春休み前まで）

1 学校経営の基盤・・・信頼関係を基盤にすえ、内発的な動機づけを生かした経営の実践→「考える力」による持続性のある改善力を生み出す

○子どもが輝く・・・「分かった・できた・すっきり感」を実感する授業。Tトレによる実践。豊水小の自慢は豊水っ子。

○教師が輝く・・・笑顔で気配り・プラスワンで働く。教師の頑張りが認められる。教師の良さが生かされる。

○地域が輝く・・・地域の教育力の活用。Win－Winの関係作り。地域学校協働活動の充実

2 学校経営の方針 「考える力」による持続性のある改善力を生かした経営

合い言葉：「笑顔・元気・いい心」 いっぱいの学校

(1) 教師力の向上 育ての心を持つ教師。自信と誇りを持ち、厳しくも温かく育む教師であること

○「教師は授業で勝負」・・・学び続けるものこそが教える資格を持つ（フレームリーディングとTトレの確実な実践を）そして、授業で子どもの瞳を輝かせ、自信をつけさせ、夢を持たせる。

・全員参加型の授業づくりをする。（まずは、ガイダンスの徹底と聞く態度の育成）

・肯定的注目と25%ルールで、短く、あっさりほめる。好ましくない行為には教育的無視。危険な行為はすぐにやめさせる。←望ましい行動を増やししながら、やり方（ガイダンス）を定着させる

・一時間の伸びやすっきり感を実感させるための評価・言葉かけの重視。校内研の共通実践事項の積み上げ。

○「学習指導＝即生徒指導」 授業の中で自己有用感と自己肯定感を育む

○「言葉・話・静かさを大切に」

・教師は最大の教育環境。自分の言動が子ども一人一人の人格形成に深く関わる。決して心を傷つけない。

・読書によるコミュニケーション力・共感力・創造力のアップ

○「凡事徹底」＋「反応力」・・・まずは、やり方（ガイダンス）を重視すること。全ての基盤となる。そして、あたりまえのことがあたりまえにできるようにする。挨拶・「はいっ」の返事は1回目からできるようにする。→キャリア教育等の充実へ

○「主体性を育てる」・・・主体性を育てるためにも「めあて－見通し－まとめ」は児童の言葉を引き出し、授業への参画意識を高める。「教師から与える」発想から、「子供から引き出す」発想への転換

(2) 人権教育・特別支援教育の視点を大切にした環境づくり・・・静かさの中に活気を

○児童の特性や環境への理解を。気になったら電話。電話より家庭訪問。教育→今日行く

○授業のユニバーサルデザイン化。見通しを持たせる。視覚的指示等。

(3) 組織力の向上・・・「考える力」による持続性のある改善力→協働体制→働き方改革へ

○「報告・連絡・相談・確認」の徹底・・・初動全力が問題解決の鍵（初動全力の原則）。明日に持ち越さない。後で後悔しても時間は戻せない。

○オフサイトミーティング（気楽にまじめな話をする）を意識した情報共有→考える力による指導・協力体制へ。

(4) 信頼される学校・・・子どもの変容、向上した姿から保護者や地域から信頼が生まれる。

○地域とともにある学校づくり

地域、保護者の信頼と協力なくしては、学校は成り立たない。情報発信のチャンスを生かす。学級便りを大切にし、子供の成長や伸びを積極的に伝え、家庭でも自己肯定感を高めてもらう。

美しい学校環境づくり。季節の花々・掃除の行き届いた空間・整理整頓（きれいな学校は成長する）

○教職員としての使命と責任を果たす・・・不祥事の防止、気づき・行動する教師に。

豊水小が大好き！全児童57名誰もがそう思えるように

